

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	ふるさとリーサム地区のまちづくり												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	寝屋川市												
計画の目標	当地区は、東に生駒山系を有し、地形の高低差をいかした眺望など、昔ながらの面影が残る区域である。また、平成22年3月に第二京阪道路及びアクセス道路等が開通し、当地区及び周辺のまちづくりにおいても大きな転換期を迎えている。しかしながら、区域内には空地や空き家が多く、また、狭あい道路も多いため緊急車両が通行できない状態となっている。過去には、火災が発生したが消火活動が行えず、延焼し被害が拡大したなど、災害に対して脆弱な既成市街地であるため、災害に強い施設整備が求められる区域である。そのため、区域内において、緊急車両等が通行できるよう防災軸となる幅員4m以上の道路整備を行うことにより、安心・安全な住みよい住環境整備を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	336	A	336	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	道路拡幅整備により、区域内の戸数に対する接道不良住宅の戸数の割合を率を改善する。 街なみ環境整備促進区域内における接道不良住宅率を計測する。 (接道不良住宅率) = (接道不良住宅戸数) / (区域内住宅戸数 282戸)	97%	%	91%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	-	-	街なみ環境整備事業(ふるさとリーサム地区)	街なみ環境整備方針策定、道路現況測量・設計、道路拡張整備、修景施設整備	寝屋川市						336	-	-	
												小計						336		
											合計						336			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
寝屋川市まちづくり推進課において評価を実施	令和3年8月
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	区域内において、防災軸となる幅員6mの道路整備を行った結果、接道不良が改善した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	道路整備により緊急車両等が通行できるようになった。また、住宅の民間開発が進み、新規住民の定住につながっている。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、街なみ環境整備方針に基づき、第2期ふるさとリーサム地区のまちづくり計画により、更なる防災軸道路の拡幅を行うとともに、災害に強い安心・安全な住みよい住環境整備を進める。	

案件番号：

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	接道不良住宅率	
	最終目標値	91%
	最終実績値	91%